



ロータリーをもっと学ぼう明日のために

本日のプログラム

「観桜会」 於/旬花 PM6:30

次週のプログラム 5月19日(火)

「家族信託について」

國谷 大輔 会員

2014~2015年度 会長 五十嵐 稔

- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長/五十嵐稔 ● 副会長/森元浩 ● 会長エレクト/宮崎あけみ
- 幹事/國谷大輔 ● 副幹事/佐藤美子
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

第2799回例会 2015年4月28日(火) 天候 晴

月間テーマ

■ロータリーソング 手に手つないで

■司会 五十嵐 稔 会長

■ゲスト

函館信用金庫 理事長 上條 博英 氏

■ビジター

函館亀田RC 川北 正樹 氏

■会長報告

1、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より五十嵐稔会員へ米山功労者第5回マルチプルの感謝状が届きました。

■委員会報告

1、友好クラブ委員会：例会終了後、委員会を開催します。

■幹事報告

1、2015-16年度のRI国際大会が韓国で開催されます。地区よりアンケートが届きました。

2、当クラブ5月12日の例会は、例会時間並びに会場を変更し観桜夜間例会を開催いたします。

3、5月8日(金)函館五稜郭RC、11日(月)函館亀田RCの例会はそれぞれ夜間例会に変更いたします。

4、5月の定例理事会を5月12日(火)午後5時30分より開催いたします。

「メインバンクは頼りになるか」

函館信用金庫 理事長 上條 博英 氏 (函館RC)

みなさんは、あるいはみなさんの会社はそれぞれ取引銀行、金融機関をお持ちだと思います。

「うちは、借金は一銭もしていない」と言う方でも、預金はされていると思いますし、なんらかの関係や用事で金融機関を利用されることは多いと思います。「私は、金融機関と一切かかわらない」と言う方は極めて少ないと思います。

例えば、複数の金融機関と取引をされていて、借入の一番多い銀行、あるいは預けているお金が一番多い銀行を、いわゆる「メインバンク」と言

いますよね。

でも、金融機関側も昔みたいに企業や個人に対して無制限に貸し出すとできない、リスクを取りづらい状況になってきていて、どちらかと言うと、他の金融機関とリスクを分け合うというような風潮になってきているのは事実であります。

1985年9月22日にニューヨークのプラザホテル(セントラルパークの近くにありますが)に時の先進5か国の蔵相・中央銀行総裁が密に集まります。なぜそのようなG5が開かれなければならなかったのか。

当時のアメリカは、レーガン政権下にあって高インフレ抑制政策として金融引締めを実施していました。そのため高金利が続いて世界中のマネーがアメリカに集まり、結果としてインフレから脱出した反面、莫大な貿易赤字と財政赤字と言う「双子の赤字」に悩まされておりました。為替も1ドル240円前後と言うドル高で、日本やヨーロッパからの輸入超過でありこのままでは自動車や機械と言ったアメリカの国内産業が大打撃を受けるというので、「日本、ヨーロッパ、為替を何とかしてくれ」と言うアメリカの強い要望があったわけでありまして。特に日本に対しては対日貿易赤字が顕著でしたので、風当たりが強かった。

そこで、日本をはじめとした主要国当局が、ドル安誘導のために協調介入をするという声明を発表しました。



その後、円はどんどん高くなっていき1年後には150円台にまでなります。

すると日本国内ではどういことが起こったかという、深刻な円高不況に陥ります。東京や大阪の町工場がどんどん倒産していきます。

1990年3月大蔵省銀行局通達

「土地関連融資の抑制について」と言う金融機関に対して出された通達です。

これが後々バブル崩壊の引き金になったと言われて、いわゆる「総量規制」というものです。これまで不動産関連への融資が他の融資に比べ、あまりにも突出していたものですから抑えろよと言うことなんです、さらに日銀は金融引き締めに移ります。1989年5月から2.5%の公定歩合を段階的に6%まで引き上げていきます。

その結果、景気は後退、不動産や株と言った資産価格はどんどん下がっていきます。

株は、1989年12月に日経平均38,915円に、1990年10月には20,000円割れと、土地の値段もしかりです。

そして不景気ですから、企業業績もどんどん悪化する、不動産価格も下がってますから銀行がとっていた担保価格も下落してきます。

どうなるかという、金融機関の貸出債権が不良債権化していったわけでありませう。

「金融機関の不良債権」

バブル景気時代に高騰した不動産を担保にとり、甘い融資が行われた結果、バブル崩壊（資産価格の下落）によって巨額の不良債権を抱えることとなったのであります。

そして1990年代後半には金融機関の破綻の連鎖が始まります。

1997年11月3日準大手証券会社の三洋証券が経営破綻。子会社の三洋ファイナンスがバブル期に行った不動産関連融資が不良債権化し、雪だるま式に債務が膨張したことが原因でした。

その2週間後、11月17日、今度は都市銀行の一角「北海道拓殖銀行」が破綻します。さらに山一証券。拓銀破綻の1週間後に自主廃業いたします。

翌年1998年には、日本長期信用銀行「長銀」、日本債券信用銀行「日債銀」が相次いで破綻、国有化されます。まさに破綻の連鎖であります。

さらに追い打ちをかけたのが、1998年4月に発動された「早期是正措置」です。

三洋証券や拓銀、山一が破綻したのが1997年11月。その数年前から、金融機関の不良債権の額は

とてつもなく巨額で、経営状態も極めて不安定と言われていましたので、当局もその辺は十分認識していて、いつ手を打とうかと考えていたと思います。

そして、その結果が「貸し渋り」「貸しはがし」

このようにして、困った時に手を差し伸べるはずの最後の砦「メインバンク制」は崩壊していきます。一金融機関でリスクをすべて負えない状況になってきたということです。どうしても融資をしなければならない場合は、複数行でリスクを分散する「協調融資」や「シンジケート・ローン」が利用されるようになりました。

そして又、2002年10月に出された「金融再生プログラム」の発動によって金融機関は不良債権の削減をある意味義務化され、対応を迫られました。「みずほ」なんかは早かったですね。2000年ですから。「みずほ」と言うのは、富士銀行と第一勧業銀行と日本興業銀行がいっしょになって金融グループを作ったんですね。

「三井住友」「三菱UFJ」も御覧の通りです。

こうして、従来型のメインバンク制・・・つまり1行が最後まで面倒を見るというような形は失われ、リスク分散するようになってきた。

「なんだ金融機関って、ほんと頼りにならんな」とお思いになるかも知れませんが、そうは言っても、日頃の取引やお付き合いをしっかりとしていれば、いざと言うときに役に立ってくれるでしょうし、今はだいぶ金融機関の不良債権も減ってきたので、体力もついてきてます。メガバンクや大手地方銀行なんかは、今年最高益を出すところもあるようです。我々金融機関としてもお客様があつて初めて成り立つ商売ですのでそこはちゃんと金融機能、サービスを提供しようと心掛けております。

特に「信用金庫」の場合は狭域です。函館信用金庫は函館を中心として、北斗市、七飯町、木古内町、知内町にしか支店はありません。まさに道南から逃げられません。

地域のみなさんと一緒に発展していくという使命を担っておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

■ニコニコボックス

ゲストスピーカー 上條博英氏 本日の卓話、宜しくお願ひ致します。

五十嵐総会長、國谷幹事 上條理事長、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

佐藤真一会員 5月12日、観桜例会ご参加よろしくお願ひします。(5月7日出欠不切です)

■出席報告

- ・4月28日(火) 48名中出席31名(免除4名)
- ・4月14日(火) 82.61%

みちのく銀行 函館営業部

工藤 隆紀 会員

千歳町9-11 電話 23-8101

くにや司法書士法人

國谷 大輔 会員

堀川町6-15 電話 30-4008